開腹手術を受けられる方へ■

病棟: 患者ID:

主治医

担当医

氏名			受持看護師						
	入院日	手術前日	(手術前) 手術	f当日 (手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目~退院
目標	体温・血圧・脈拍が安定し 手術について分かる。	している。	体温・血圧・脈拍が安定して 痛み止めを使って、痛みをや		体温・血圧・脈拍が 腸の動きが良く、ガス 傷から血や液が出て	スや便が出る。 吐き気か	かを使って、痛みをやわら がない。 歩行できる。	らげます。	体温・血圧・脈拍が安定している。 傷に、赤み・腫れ・痛みがない。 退院後の生活の注意点が理解できる。
説明	手術前後の経過や処置について説明します。	(主治医より) 手術について説明します。 (麻酔医より) 麻酔、手術前の食事や水分 摂取について説明します。 司意書をお渡しします。	でには病院にお越し下さい。	主治医から、手術の結果に ついて説明があります。	記入の必要な	き書類があれば、			(看護師より) 退院後の生活について説明します。 (主治医より) 退院後の外来受診や服薬などに ついて説明します。
検温	適時	14時	6時・手術室へ行く前	帰室時 1,2,3,6時間後 それ以後翌日10時まで4 時間毎(指示有り)	10時 14時 19時	6時 10時 14時 19時	6時・14時	14時	14時
排泄	尿量の測定を始めます。	尿量の測定を続けます。	尿量測定を続けてください。	手術中、尿道にカテーテル を入れます。		カテーテルを抜きます。 ポータブルトイレで排泄を します。	尿量測定は終了です。		
処置		必要時、手術部位の毛剃りがあります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。	朝浣腸があります。 午後より手術の場合、朝より 点滴があります。	手術室より酸素を付けて帰室ます。 背中に硬膜外チューブ、お腹にドレーンが付いてくる場合があります。 点滴は主治医の指示あるまで持続で実施します。	8時、酸素投与が中止です。	背中に入っている痛み止めのチューブを抜きます。 弾力ハイソックスを脱いでかまいません。	採血、採尿をします。	創部の抜糸をする 場合があります。	(術後6日目) 採血、採尿があります。 内診があります。
準備	さい。 マジックテープ式腹帯 3枚サイズ() T字帯2枚 ナプキン	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上にナプキン1袋、パンツ1枚、T字帯1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。 その他、手術に必要な物品を看護師がお預かりします。	ハイソックスを履き、病衣に 着替えておいてください。 下着はパンツのみつけます。 手術に出られている間にお 部屋の移動をする場合があ		漢方 対より腸の動きをよくする漢		たされ続くだされ		

迎时	1 4 44	0时, 子侧至、117间	時間毎(指示有り)	ाणानु । यानु । अपन	ि । । । । । । । । । । । । । । । । । । ।	0時,14時	1411	14 15
尿量の測定を始めます。	尿量の測定を続けます。	尿量測定を続けてください。	手術中、尿道にカテーテル を入れます。		カテーテルを抜きます。 ポータブルトイレで排泄を します。	尿量測定は終了です。 		
	があります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。	午後より手術の場合、朝より 点滴があります。	室ます。 背中に硬膜外チューブ、お	8時、酸素投与が中止です。	背中に入っている痛み止めのチューブを抜きます。 弾力ハイソックスを脱いでかまいません。	採血、採尿をします。	創部の抜糸をする 場合があります。	(術後6日目) 採血、採尿があります。 内診があります。
さい。マジックテープ式腹帯	とめておき、床頭台上に ナプキン1袋、パンツ1枚、 下字帯1枚、体温計、 ティッシュ等をセットしてお いてください。	手術の2時間前までに弾性 ハイソックスを履き、病衣に 着替えておいてください。 下着はパンツのみつけます。 手術に出られている間にお 部屋の移動をする場合があ ります。		漢方		でもご相談とだびら		
	薬を一時お預かりします。 眠れない時は眠剤を処方し	安定剤の内服がある場合があります。		朝より腸の動きをよくする漢 方薬を飲み始めます。 手術前から飲まれていたお 薬をお返しします。	•			
制限ありません。			ベッド上安静。 膝を立てたり腕を動かしたり はかまいません。 体の向きは看護師が介助 して変えます。	11.7		病棟内、制限ありません。	制限ありません。	
制限ありません。	屋より低残渣食となります。	食事は食べれません。 水分摂取は麻酔科医の指示 に従ってください。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。	昼から5分粥です。	昼から全粥です。	昼から普通食です。	
入浴可能です。				体を拭いてお下も洗います。 お手伝いしますが、出来る 範囲でご自分でも拭くように しましょう。 着替えもします。	ます。出来る範囲でご自分		シャワー浴開始です	
	必要物品を購入してください。 マジックテープ式腹帯3枚サイズ() T字帯2枚 ナプキン 内服している薬は続けて服用してください。 寝る前に緩下剤の内服	があります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。 少寒物品を購入してください。 マジックテープ式腹帯 3枚サイズ() 下字帯2枚 ナプキン 内服している薬は続けて服用してください。 寝る前に緩下剤の内服があります。 制限ありません。 制限ありません。 があります。 があります。 があります。 があります。 があります。 「おいてください。 なっ他、手術に必要な物品を看護師がお預かりします。 により内服薬を一時お預かりします。 にいない時は眠剤を処方しますので、お知らせください。 制限ありません。 「とめておき、床頭台上に ナプキン1袋、パンツ1枚、 下字帯1枚、体温計、 ティッシュ等をセットしておいてください。 まずので、お知らせください。 最より低残渣食となります。	の要時、手術部位の毛剃りがあります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。 夕食後浣腸があります。 夕食後浣腸があります。 夕食後浣腸があります。 夕食後浣腸があります。 夕食後浣腸があります。 夕食後浣腸があります。 夕食後浣腸があります。 夕食後浣腸があります。 「一様とり手術の場合、朝より点滴があります。 「一様とめておき、床頭台上にナブキン1袋、パンツ1枚、「一方番をとしてがった。」 「一方本ン1袋、パンツ1枚、「一方番をといてください。下着はパンツのみつけます。」 「一方本ン」 「中部では、一方では、「」では、「一方では、「一方では、「一方では、「一方では、「一方では、「一方では、「一方では、「一方では、「一方では、「一方では、「一方では、「一方では、「」では、「一方では、「」では、「一方では、「」では、「一方では、「」では、「「」では、「では、「」では	尿量の測定を始めます。	尿量の測定を始めます。 尿量の測定を続けます。 必要時、手術部位の毛剃りがあります。 かんその処置があります。 夕食後洗腸があります。 夕食後洗腸があります。 夕食後洗腸があります。 夕食後洗腸があります。 夕食後洗腸があります。 夕食後洗腸があります。 夕食後洗腸があります。 夕食の回りの荷物は一つにまたが、	展量の測定を始めます。	展型の測定を始めます。 原型の測定を続けます。	展電の測定を始めます。 展電測定を続けてください。 展電測定を続けてください。 「手術中、限油にカテーテル を入れます。 「本人の場合はあります。 か悪味、手術部位の毛剥り があります。 かを要物品を購入してくだ。 とい。 クを後沈陽があります。 かき物品を購入してくだ。 さい。 アンツクテープは選帯 3枚サイズ (こ) ・ 一部は、作品計 ・ 一でリングを変え。病式に ・ 一でリングラープは選帯 3枚サイズ (こ) ・ 一では、原電があります。 ・ 一では、アンツクテープは選帯 3枚サイズ (こ) ・ 一では、アンツクテープは選帯 3枚サイズ (こ) ・ 一では、原電があります。 ・ 一では、アンツクテープは要素を付けて係で、 ・ 一では、アンツクテープは要素を付けてくだ。 といてください。 ・ 「平部・技・体品・ ・ 「平部・技・体品・ ・ 「一では、アンツクテープは、アンツ (大・アンツのみ・フ) はます。 ・ 一では、アンツクテープは、アンツ (大・アンツのみ・アン・アンのみ・アン・アンのみ・アン・アンのみ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・

開腹手術(リンパ節郭清あり)を受けられる方へ ■

患者D: 病棟:

主治医

担当医

	氏 名			文 持有護師					
	入院日	手術前日	(手術前) 手術:	当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目~退院
目標	体温・血圧・脈拍が安定して 手術について分かる。	いる。	体温・血圧・脈拍が安定してい 痛み止めを使って、痛みをやれ		体温・血圧・脈拍が 腸の動きが良く、ガス 傷から血や液が出て	くや便が出る。 吐き	・ か止めを使って、痛みを き気がない。 東内歩行ができる。	やわらげます。	体温・血圧・脈拍が安定している。 傷に、赤み・腫れ・痛みがない。 退院後の生活の注意点どが分かる。
		(主治医より) 手術について説明します。 (麻酔医より) 麻酔、手術前の食事や水分 摂取について説明します。 司意書をお渡しします。 署名後、看護師にご提出くださ		いて説明があります。	PINS CONTROL OF THE PARTY OF TH	記入の必要な書類がる			(看護師より) 退院後の生活について説明します。 リンパ浮腫の予防について説明します。 (主治医より) 退院後の外来受診や服薬などについて説明します。
検温	適時	14時	6時・手術室へ行く前	帰室時 1·2·3·6時間後 それ以後翌日10時まで4 時間毎(指示有り)	10時 14時 19時	6時、10時、14時、19時	6時・14時	 14時 	14時
排泄	尿量の測定を始めます。	尿量測定を続けてください。	術前は尿量の測定を続けてください。	手術中に尿道留置カテーテルを尿道に入れます。	3	尿道留置カテーテル を抜きます。 ポータブルトイレにて 排泄をします。	尿量測定は終了です。	,	
処置		必要時、手術部位の毛剃りがあります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。	午後より手術の場合、朝より点滴があります。	帰って来ます。 背中に硬膜外チューブが、 お腹にドレーンが付いてくる 場合があります。 点滴は主治医の指示あるま	採血があります。 8時に酸素投与を中止します。 医師の診察があります。 点滴は夕方まで持続。 朝・夕の抗生剤の点滴もあります。	背中に入っている痛 み止めのチューブを 抜きます。 弾力ハイソックスを脱 いでかまいません。	採血、採尿があります。	創部の抜糸がある場合があります。	(術後6日目) 採血、採尿があります。 内診があります。
	必要物品を購入してください。 マジックテープ式腹帯3枚サイズ() 丁字帯2枚 ナプキン	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上にナプキン1袋、パンツ1枚、T字帯1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。その他、手術に必要な物品を看護師がお預かりします。	イソックスを履き、病衣に着替 えておいてください。 下着はパンツのみつけます。						
投薬	内服している薬は続けて服 用してください。 寝る前に緩下剤の内服があ ります。	麻酔科医の指示により内服薬を一時お預かりします。 眠れない時は眠剤を処方しますのでお知らせください。	麻酔科医の指示で手術前に 安定剤の内服のある場合があ ります。	をお渡しします。	漢方薬を飲み始めます。 手術前から飲まれてい たお薬をお返しします。	漢方			
安静	制限ありません。			ベッド上安静。膝を立てる・腕を動かすのはかまいません。 体の向きは看護師が介助して変えます。		病室内は歩けます。	病棟内は制限ありません。	制限ありません。	
食事	制限ありません。	昼より低残渣食となります。	食事は食べれません。 水分摂取は麻酔科医の指示 に従ってください。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります	昼から5分粥です	昼から全粥です。	屋から普通食です。	500
清潔	入浴可能です。				が、出来る範囲でご自分	体を拭くタオルをお持ちします。出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用ください。	<u>6</u>	(術後4日目~) シャワー浴が開始となります。	
		(単能に上い名/小前谷	(+7>1,5; + h+++)		1. 多数好食完成	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	L	I.	ナかほしか

広汎子宮全摘術を受けられる方へ

患者ID: 病棟:

主治医

担当医

氏名 受持看護師	
--------------------------------	--

八石			文付有設帥							
	入院日	手術前日	(手術前)	手術当日	(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目~退院 1/5(木)~ 退院
目標	体温・血圧・脈拍が安定 手術について分かる。	している。	体温・血圧・脈拍が安定してし 痛み止めを使って、痛みをや			体温・血圧・脈拍が安定 痛み止めを使って、痛み 創部に問題がない。 嘔気がない。 腸の動き 病棟内歩行できる。	をやわらげます。		傷に、赤み・腫れ・痛み 残尿が少なく排尿がで	きが良く、ガスや便が出る。 がない。 きる。 点が理解できて、不安がない。
	看護師がお話しをうか がい、入院生活と手術 前後の経過や処置につ	(主治医より) 手術について説明します。	ご家族は、手術に出る時間までには病院にお越し下さい。	(担当医師よりで 手術の結果に				看護師より膀胱体操	(について説明します。	(看護師より) 退院後の生活について説明 します。
説明		麻酔、手術前の食事や水分 摂取について説明します。						_		リンパ浮腫の予防について 説明します。
		同意書をお渡しします。 署名後、看護師にご提出ください。			I					(担当医師より) 退院後の外来受診や服薬 などについて説明します。
検温	適時 🥭	14時	6時・手術室へ行く前		3.6時間後、それ以後、 4時間毎(指示有り)	10時 14時 19時	6時·10時·14時·19時	6時·14時	14時	
排泄	 尿量の測定を始めます。 	 尿量の測定を続けてください。 	 尿量の測定を続けて下さい。 	尿道にカテー	テルを入れます。		置カテーテルは入ったまま え量の測定をしてください。 R量の測定を終了します。			が管で尿をとり確認します。
		必要時、手術部位の毛剃りが あります。			素を付けて帰室します。	8時、酸素投与が中止。	背中に入っている痛み止 めチューブを抜きます。	採血、採尿します。	創部の抜糸をする場 合があります。	(術後6日目) 採血・採尿があります。
処置		おへその処置があります。	午後より手術の場合、朝から 点滴があります。		トチューブ、お腹には いてくる場合があります。	医師が診察します。	弾力ハイソックスを脱い でかまいません。			内診があります。
		夕食後浣腸があります。		点滴は医師の)指示あるまで持続。	朝・夕、抗生剤の点滴もあります。	CN &			
			手術の2時間前までに弾性ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。							この相談でか
準備	マジックテープ式腹帯 3枚サイズ()	T字帯1枚、腹帯1枚、体温計、 ティッシュ等をセットしておい	下着はパンツのみつけます。							
	T字帯2枚 ナプキン	てください。 その他、手術に必要な物品を 看護師がお預かりします。	手術に出られている間、お部屋の移動をする場合があります。			漢方				
	持参されたお薬を一時 お預かりします。	眠れない時は眠剤を処方しま すので、お知らせください。	に安定剤の内服がある場合か		みにはトローチをお渡し	朝より腸の動きをよくする漢方薬を飲みます。				
12 🛠	寝る前に緩下剤の内服があります。		あります。			手術前から飲まれていたお薬をお返しします。				
安静	制限はありません。			したりはかまい	, 膝を立てたり腕を動か いません。 看護師が介助して変え	まいません。	病室内は歩けます。	病棟内は制限ありません。	制限はありません。	
食事	制限はありません。	昼食より低残渣食となります。	食事は食べれません。 水分摂取は麻酔科医師の指 示に従って下さい。			朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。	昼から5分粥です。	昼から全粥です。	昼から普通食です。	500
						体を拭いて、お下も洗い	体を拭くタオルをお持ちします。			
清潔	入浴可能です。					ます。お手伝いしますが 出来る範囲でご自分で も拭くようにしましょう。 着替えもします。	出来る範囲でご自分でも 拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットを ご使用ください。	6	医師の許可があれば、	シャワー浴開始です